

SDGs探究学習 特化型プログラム

宮城県では、教育旅行先でもSDGs学習や探究学習が実践できるように、SDGs探究学習特化型プログラムを提供しています。
学校や児童・生徒が学びたいテーマに合ったプログラムをお選びいただけます。



**SDGs探究学習特化型プログラムのご相談・お申込みは
みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターまで**
※各受入先への直接のお問い合わせはご遠慮ください

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター (みやぎ観光復興支援センター)
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1 (公益社団法人 宮城県観光連盟内)
TEL 022-265-8722 FAX 022-211-2829 E-MAIL m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

SDGs探究学習特化型プログラムの流れ



1 申し込み 催行6か月前まで

お伝えいただくことの例
総合的な学習(探究)の時間と修学旅行での学びを結びつけたい。
探究の共通テーマがSDGs、旅行先の地域課題、解決の取り組み事例を学ばせたい。
郷土教育を推進している。自分たちの住む地域への愛着を持ってほしい。
地域の人たちとの対話を重視したい。 など

催行日の6か月前までにお申込み、ご相談ください。
(お伝えいただきたいこと)
・学校で実施しているSDGs活動・探究学習について
・希望するプログラム名
・学習のねらい(身につけさせたい力など)
※申込みプログラムが決まっていない学校様には、学びたい内容に沿ったプログラムのご提案をいたします

2 事前学習の共有 催行2か月前まで

共有内容例
○事前学習のレポート
○受入先への質問リスト
○班ごとに立てた探究テーマ など
ご提出物の内容は任意の形で構いません。

事前学習 事例
○班ごとの学習テーマ設定
○質問リスト作り
○オンライン講義 など

催行日の2か月前までに、事前学習で学んだ内容や質問事項、聞きたいこと、見たいものなどをまとめたものをご提出ください。そちらをもとに、当日のプログラム内容を受入先と検討・調整いたします。

3 プログラム実施(現地学習)

実施内容検討

[支援センター・受入先]
地域課題や取り組み例をリアルに感じられるよう、体験を通じて学べる内容にしましょう!
[地域の人との対話]を希望しているので地域の方にも参加してもらいましょう!

現地での講話やフィールドワーク、ワークショップなど、学びたい内容に沿ったプログラムを実施します。

4 事後学習の共有 原則同年度内まで

共有内容例
○学習発表用にまとめたスライドデータ
○まとめポスターのデータ
○オンライン発表 など

事後学習 事例
○「地域に対してできること」をまとめる
○探究学習をふりかえり、結びつくSDGsのゴールを考える
○旅行で学んだことを受入先の方にオンラインで発表する など

現地学習実施後、事後学習として行った内容をご共有ください。
支援センターから受入先へ共有いたします。
原則、実施した年の年度末までにお問い合わせいただけます。
※ご提出いただいた個人情報は支援センター、受入先のみで保管いたします

[先生および児童・生徒向け] SDGsと探究学習 基本のキを学ぶプログラム

SDGsの基礎知識と地域のESD事例を学ぶ

東北地方ESD活動支援センター
受入可能人数 6~200人
所要時間 40~90分(応相談)
お問い合わせ 022-265-8722 (みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター)
m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

東北地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development
(みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター)

探究学習の基本を学ぶ!

受入可能人数 会場による
所要時間 60~120分
お問い合わせ 022-265-8722
(みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター)
m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

ESD活動支援センターはESD活動を応援するため、文科省と環境省が連携して誕生した組織です。ESDやSDGsの基本のキを学び、身近な話題をテーマに考える基礎講座やESD型プログラムの相談対応を行っています。SDGsの視点から暮らしや地域のことを見つめ直すことは多角的に物事をとらえるきっかけになります。SDGsが登場するまでの国際社会の歩みや、SDGs達成に向けた地域の取組事例など、講座の内容はお気軽にご相談ください。※会場は来訪者様側でご準備・ご手配ください

「探究学習の進め方が分からない」「何をしたらよいか生徒たちが悩んでいる」「課題・テーマ設定が難しい」などの悩みに対し、一緒に地域課題を探したり、どのように学習を進めていけばよいかをレクチャーします。対象は生徒、教員どちらも可能です。講師は宮城県の農業高校教諭の山根氏が務めます。

講師:山根正博教諭/農業の担い手、および課題解決を図ることのできる生徒の育成を目指し探究学習の指導を担う。指導した生徒の多くが様々な分野の大会、コンクールで受賞している。 ■受入可能期間/土・日、夏休み・冬休み等の長期休業時期 ■料金/無料 ■実施場所/講師の勤める学校、仙台市・名取市内会場等 ※オンライン対応可能

■受入可能期間/通年 ■休業日/土・日・祝・お盆・年末年始
■料金/所要時間に応じて要相談 ■該当市町村/仙台市

宮城県内のSDGs
探究学習特化型
プログラム



株式会社男山本店
1 お酒造りの現場見学を通し日本人と
日本酒の関わりや拘りを学ぶ



【座学・工場見学】
日本酒が出来るまでの工程の説明と酒造りの現場の見学を通して、「水田と日本人・水との関係」「地域の風土・歴史・文化の伝承」「日本人の知恵・技の伝承」「容器リサイクルなどの環境問題への取り組み」等について学ぶことができます。

■受入可能期間／通年10:00～16:00(ただし8月は製造が休みのため座学主体) ■休業日／土・日・祝
■料金／無料 ■該当市町村／気仙沼市

気仙沼ほてい株式会社本社工場
6 食の安全安心の対応・環境への配慮・
地域社会との共存共栄を学ぶ



【座学・工場見学】
気仙沼港の水産資源を活かし、多品種小ロット生産と幅広い加工品の生産を可能にすると共に、「食の安全安心への対応」や「環境への配慮」をコンセプトとして東日本大震災後に再建しました。また、地域社会と共存共栄を目指し生産の各工程をご覧いただける見学専用通路を設置しました。近隣の小・中・高生の社会学習や自治会・公民館行事等の受入れを行っています。

1.座学:映像を利用した製造過程の説明(会場が使用できない場合は見学者専用通路で実施)
2.見学:見学者専用通路より製造風景を見学

■受入可能期間／通年10:00～15:00 ■休業日／土・日・祝
■料金／無料 ■該当市町村／気仙沼市

株式会社ミヤカン
7 環境に配慮した
製造・働きがいや人財育成などを学ぶ



【座学・工場見学】
製造工程での魚原料の持続的な確保や残渣活用、水産加工業に従事する人たちの働きがいや人材育成への取り組み、クリーンエネルギー源としての太陽光発電など、安全・安心な食を提供している内容を学んでいただけます。

〈学習ポイント〉
①工場屋上での太陽光発電
②気仙沼の水産加工業に従事する人たち
③若い世代の減少、地元離れ、技能実習生
④魚原料の確保、無駄のない製造(残渣の活用)

■受入可能期間／通年10:00～16:00 ■休業日／土(不定休)・日・祝・年末年始・お盆 ■料金／無料 ■該当市町村／気仙沼市

リアスの森バイオマスプラント(気仙沼地域エネルギー開発株式会社)
2 地域の循環を生み出す
再生可能エネルギーについて学ぶ

【座学・施設見学】
木質ガス発電による地産地消型再生可能エネルギー事業。発電だけでなく豊かな山林を守ると同時に海の豊かさを守る地域環境保全を目指しています。林業の担い手作りのための林業研修、山への対価がまちにも循環する地域通貨リネリアの発行にも携わっています。※体験用リネリア1,000円分、市内観光3施設の入場券を進呈

1.座学(事業説明映像を観た後、質疑応答) 2.プラント見学

■受入可能期間／通年 ■休業日／土・日・祝・年末年始 ■料金／1時間の見学コース:3,300円(1人)、半日・1日コース:料金・内容要相談 ■該当市町村／気仙沼市

NPO法人浜わらす
3 海洋ごみが自然環境や
海の生態系に及ぼす影響を学ぶ

【座学・フィールドワーク】
世界中で問題となっている海洋ごみ。このプログラムでは、全員でビーチクリーンを行った後、プラスチックごみやシーグラスを使い、オリジナルのフォトフレームづくりや海のジェルキャンドルづくりを行います。一連の体験を通して日々の生活で出ているごみが自然環境や海の生態系に大きな影響を与えていることを学びます。

■受入可能期間／通年(日程によりお断りする場合有り)
■料金／2,000円(1人) ■該当市町村／気仙沼市

気仙沼水産振興センター、遠洋まぐろ延縄漁船(一社)宮城県北部延縄漁業組合
8 世界の海洋資源や日本の水産業の
問題を漁師の方から学ぶ



【漁船見学・出船送り・座学】
東日本最大のまぐろ漁船の基地「気仙沼港」で、遠洋まぐろ漁船を見学しながら元漁師からの体験談やミナミマグロ寿司の試食体験、船主・地元漁業団体等からの気仙沼の漁業についての講話等、五感をフルに活用した体験を通じて、日本の漁業の課題や水産資源の問題について、深く考えるきっかけになるかと思えます。

1 漁船見学会
元漁師からの体験談や漁法についてのガイドを受けながら船の食堂でのミナミマグロ寿司の試食等が体験できる

2 出船送り
出港岸壁から出漁する船を見送る気仙沼の伝統行事に参加できる

3 座学+1もしくは2
水産情報発信施設の見学や「気仙沼の漁業」「水産資源」についての講話他

■受入可能期間／要問い合わせ(見学可能船が気仙沼港にいない場合は不可) ■休業日／土・日・祝 ■料金／無料 ■該当市町村／気仙沼市

南三陸研修センター
9 ゲームで体験!地域経済やSDGsを
新感覚ボードゲームで学ぶ



【ワークショップ】
「みんなのまちづくりゲーム in cities」は横浜国立大学と地域に根付き活動する南三陸研修センターによる共同開発商品です。自分たちが住みたいと思える、まち・地域を実現するために、どのような政策・アクションが効果的なのかをシミュレート。ゲームをプレイするだけで、地域経済、地域とSDGsの関わり、人口と環境など、まちづくりの要素が自然と体感できます。また、ゲームを進めるにはチームで協議が不可欠。メンバーの意外な一面も見ることから、チームビルディングにもおすすめです。※場所は「南三陸まなびの里いりやど」の他、ご希望の場所で実施可能(プロジェクト、スクリーン、ホワイトボード必要)

■受入可能期間／通年 ■休業日／8/13～16、12/29～1/3
■料金／1,650円(1人) ※いりやど以外で実施する場合、別途使用料発生
■該当市町村／南三陸町

アサヤ株式会社
4 漁業の基礎となる漁具を通じて
「海の豊かさを守る」を学ぶ

【工場見学・説明】
1850年に創業した当社は、取り扱っている漁具の数は3万点以上。捕る魚に適した漁具を使用することは、持続可能な漁業(海洋資源の保全)のためには不可欠です。このプログラムでは、スタッフの説明のもと様々な漁具を知ることにより漁業の基礎となる漁具の部分でも「海の豊かさを守る」考え方が取り入れられていることを学ぶことができます。

■受入可能期間／通年(社内の都合によりお断りする場合有り) ■休業日／土・日・祝 ■料金／20,000円(1団体) ■該当市町村／気仙沼市

株式会社岡本製氷冷凍工場
5 鮮度の良い魚を提供するための氷、
氷が豊かな海を守るへのつながりを学ぶ

【工場見学・説明・施設見学】
気仙沼市の水産業を支える製氷工場、日々氷を追求しています。鮮度の良い美味しい魚を食べる事が水産業の発展を促し、それが持続的に魚を供給するための資源・環境保全へとつながっていくことを学べます。そして、高度な製氷技術を用いた「氷の水族館」をご見学いただけます。

■受入可能期間／通年(社内の都合によりお断りする場合有り) ■休業日／土・日・祝 ■料金／1,700円(1人) ■該当市町村／気仙沼市

一般社団法人南三陸町観光協会

10 南三陸SDGsアクティブラーニング

1 環境学習～漁船にて養殖場見学付き

受入可能人数 10～40人 ※最大人数については別途ご相談ください。
 所要時間 150～200分

生きる上で欠かせない「食」
 【乗船体験・ワークショップ】
 実は、参加者自身へ直結しているかもしれない「食」に関する課題を、南三陸町の漁業・海の世界を通して考えます。養殖現場を見学し、現役漁師から直接話を聞くことで見えてくる身近な課題。現地で生の声を聞き、肌で感じながらこそ湧き上がる考えを自分ごとに置き換え、解決策に思いをめぐらせます。グループディスカッションから発表まで行い、他のアイデアにも触れることでさらに深い探究へとつながります。
 1.レクチャー(志津川湾の環境・養殖現場の事前レクチャー):20分
 2.フィールドワーク(漁船に乗船し養殖現場見学):60分
 3.ワークショップ(個人ワーク・グループワークを経て発表):120分
 ■受入可能期間/通年 ■料金/8,250円(1人)
 ■該当市町村/南三陸町



写真提供:南三陸町観光協会

2 海と食の未来を守るには?

受入可能人数 20～80人
 所要時間 150～180分

「君たちの選択が未来をつくる!」
 【座学・ワークショップ】
 売り手よし、買い手よし、世間よし、自然資本よしの「四方よし」と漁業革命とのコラボを実現させるには?魚がとれない未来や今後待ち受けるであろうタンパク質競争など、自身にふりかかる現状を認識し課題に向き合うプログラムです。
 1.イントロダクション(現状認識):15分
 2.インプット(震災をバネに実現したカキ養殖改革を学ぶ):40分
 3.グループワーク(起業家になりきって事業で社会課題を解決しよう!):90～120分
 4.振り返り(今日の学びを振り返る):10～15分
 ■受入可能期間/通年 ■料金/3,630円(1人)
 ■該当市町村/南三陸町

3 ゴミから持続可能な未来を考える

受入可能人数 20～80人
 所要時間 120分

【座学・ワークショップ】
 南三陸町のバイオマス都市構想の取り組みから環境を考えるアクティブラーニングプログラム。自分たちが何気なく捨てているゴミについて考え、普段の生活を環境視点に置き換えるシュミレーションを行います。講師の話やグループワークから、自身の行動が環境を守る行動へ、意識をめぐらせます。
 1.イントロダクション・インプット(バイオマス都市構想および、循環型社会を目指す南三陸町についての説明・理解を深める):30分
 2.グループワーク(身近な「ゴミ」について考える):40分
 3.発表・まとめ・質疑応答(今日の学びを振り返る):50分
 ■受入可能期間/通年 ■料金/3,630円(1人)
 ■該当市町村/南三陸町

11 株式会社佐久 林業・木材生産を通し 持続可能社会を考える

受入可能人数 5～15人
 所要時間 60～180分

【山林見学・座学・間伐体験】
 SDGsの考え方の参考にされているFSC(国際森林認証)山林を舞台に、環境・社会・経済のそれぞれに配慮した林業・木材生産を通して持続可能社会について一緒に考えてもらう山林ガイドツアー。※時期によりプログラムが変わります(山林ガイドによる山林見学や間伐体験など)
 ■受入可能期間/応相談 ■休業日/不定休
 ■料金/3万円より(1団体) ※応相談 ■該当市町村/南三陸町



12 宮城県志津川自然の家 洋上めぐり

受入可能人数 3～48人(24人×2艇)程度
 所要時間 90～120分程度

【乗船体験・見学】
 ラムサール条約に登録された志津川湾を船で巡りながら、カキの養殖の様子を見学したり、渡り鳥や南三陸町の海と山のつながりについての話を聞いたりします。実際に目で見て、触れて、匂いを嗅ぎ、風を感じることで、生物多様性や環境問題について考えを深めることができるプログラムです。
 ■受入可能期間/5～9月 ■休業日/月・年末年始
 ■料金/無料 ■該当市町村/南三陸町



13 海の見える命の森実行委員会<南三陸ホテル観洋> 自然と生きていく。生きる力を学ぶ

《第6回ジャパン・ツーリズム・アワード入賞》
 《令和3年度・文部科学省・青少年の体験活動推進企業 優秀賞受賞(2021年)》



1 「生きる力」を育むには?

受入可能人数 10～100人
 所要時間 150分

【語り部ガイド・体験】
 東日本大震災により、我々は様々な教訓と、災害に対する備え、そして「生きる」との根底には自然の支えがあることを学びました。この学びを後世への資産として、伝承と鎮魂の場所を作ることにより、我々自身もまた学びを深めるきっかけとなります。震災語り部や地域と「海の見える命の森」※の案内人の話を聞き、森の整備や植樹活動により自然と触れ合う活動を通して、「自然と生きていく」ことの大切さを学んでいきましょう。※震災伝承施設(第3分館)
 ①「海の見える命の森」語り部ガイド(②と連動する基本コース)
 a.語り部ガイドと地域案内(30分)
 b.語り部ガイドと森の案内(60分)
 c.語り部ガイドと潮風トレイルコース案内(120分) ※a～cより1つ選択
 ②避難所体験「食べることは生きること」石窯で手作りピザを作ろう
 ■受入可能期間/通年9:00～17:00 ※天候などにより催行中止となる場合有り
 ■料金/①1,100円(1人) ※別途、道具貸出料300円(1人) 発生
 ②ピザ焼き体験1,100円(1人) ※弁当に変更可 詳細プログラムの一部を動画でご紹介
 ■該当市町村/南三陸町



2 震災を風化させない!震災から学ぶ(語り部バス) 《第3回ジャパン・ツーリズム・アワード大賞》

受入可能人数 バス1～12台
 所要時間 70～120分(要相談)

【語り部バス】
 南三陸町は、東日本大震災により甚大な被害を受けました。あれから10年余りが経過しましたが、まだまだ復興への道のりは長く、今も多くの問題を抱えています。そのような事を見て、聞いて感じた事を周りの方々に伝えて頂き今後の教訓として頂ければという思いで震災語り部バス、震災講話をしております。震災を知る事で、大切な人を守るために何が出来るかを考える「きっかけの場」としていただければと思います。※ホテルのスタッフ、町の方が自分の経験談などガイドしながら震災遺構などをめぐるプログラム
 ■受入可能期間/通年(年中無休) ■料金/バス1台5,000円
 ■該当市町村/南三陸町

14 南三陸BIO(ピオ) 生ごみは捨てるだけじゃない!? 資源の大切さと循環を考える



受入可能人数 1～40人/回(超える場合は要相談)
 所要時間 90分

【施設見学・説明】
 住民の協力が必須の生ごみ収集から、生ごみがエネルギーや液体肥料として生まれ変わるまでの行程をバイオガス発電施設「南三陸BIO」の現場にて解説を行います。
 町では震災の教訓を生かし、「できるかぎりエネルギーを自給しよう」と、未利用資源をエネルギーに変える「循環型社会」の実現に向けて取り組んでいます。その核となる、南三陸BIOの仕組みを学べるプログラムです。地域コミュニティ、震災復興の物語など多様な学びを得ることができます。※水・土・日・祝日の場合、施設が稼働していない状態での視察となります。あらかじめご了承ください。
 1.導入解説・動画視聴(30分) 2.視察(60分)
 ■受入可能期間/通年9:00～16:00 ■休業日/8/13～8/16、12/29～1/3
 ■料金/15名未満:37,500円(1団体) 15名以上:2,500円(1人)
 ■該当市町村/南三陸町

15 特定非営利活動法人 海の自然史研究所 海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)を学ぶ



受入可能人数 4～40人
 所要時間 60～120分

【ワークショップ・体験(室内中心)】
 海洋リテラシー(理解し活用できる能力)を育む、自然科学・環境学習となる室内体験プログラムです。子どもたちの学習機会においては発達段階に応じた内容を提供し、また大人の研修機会としても活用できます。海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)にフォーカスして、海の保全と持続可能な活用を、実体験やゲームのアクティビティを通して楽しみながら考える内容となっています。また、社会・環境問題として顕在化して大きな問題となっている海洋ゴミ(特にプラスチックゴミ)について、その問題解決行動に移すことの重要性を伝えます。実際に海洋ゴミがどうなっているかを、ビーチクリーン活動を通して実感し、その問題が現実であることを実感してもらいます。※実施場所:南三陸・海のビジターセンターもしくは石巻・川のビジターセンター(出張可)
 ■受入可能期間/通年
 ■休業日/火・年末年始(応相談)
 ■料金/550円より(1人) ※プログラムにより異なる
 ※リモートや出張での事前授業も可能(旅費・郵送料別途)
 ■該当市町村/南三陸町・石巻市※地域制限なく出張可

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン

16 海の豊かさを守ることを、一緒に考える

受入可能人数 10~100人(乗船体験は40人まで)
所要時間 60分~

【座学・乗船体験】

当法人の活動内容を通して、海の豊かさを守るのに必要なことを一緒に考えていきたいと思います。エコラベルASC・MSC・CoC認証の取得、磯焼け対策、絵本「さかながなくなっちゃって!」を通じた啓蒙活動など開発目標に沿った座学・乗船体験。



■受入可能期間/5~9月(それ以外は応相談) ■休業日/土・日・祝 ■料金/[座学のみ]要相談 [乗船体験]4,400円より(1人) ■該当市町村/南三陸町・石巻市

石ノ森萬画館

18 マンガを活かしたまちづくりを学ぶ

受入可能人数 5~30人

所要時間 180分(石ノ森萬画館見学会含む)

【座学・フィールドワーク】

「住み続けられるまちづくり」の学習として「マンガを活かした街づくり」を題材に学べます。シンボル施設の石ノ森萬画館の見学、街づくり講話、萬画館のスタッフが案内する石巻マンガロードツアー。マンガの街ならではの取り組みを紹介します。講話(60分)→街歩き(60分)→萬画館見学会(60分)※講話「マンガを活かした街づくり」「マンガの王様・石ノ森章太郎について」等



■受入可能期間/通年9:00~17:00 ■休館日/火曜日 ※除外日あり、HP参照 ■料金/[石ノ森萬画館観覧料]大人900円、中学生250円※20人以上団体料金 [ツアー・講話]1,100円(1人) [会場費]2,200円(1,100円/h) ■該当市町村/石巻市

石巻専修大学

20 持続可能な社会に向けた取り組みを地域で学ぼう

1 ロードキルについて学ぼう

受入可能人数 5~30人

所要時間 120分

【座学・観察】

野生動物の交通事故(ロードキル)は、全国的な問題となっています。本プログラムでは、宮城県石巻市のロードキルの現状について、私たちの調査結果をもとに解説し、事故死した動物から製作した骨格標本など、関連資料を見学していただきます。このプログラムを通じて、身近な野生動物問題に接していただき「ヒトと動物が共存できるまち」のあり方について、考えてほしいと思います。



■受入可能期間/8月上旬~9月中旬、12月下旬~1月上旬、3月上旬~中旬 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

2 自分の手の動きをロボットハンドに再現してみよう、遠隔操作ロボットの仕組みを学ぶ

受入可能人数 1~5人

所要時間 150分

【座学・体験】

ロボットハンドを実際に動かして体験してもらい、実習と講義を通してプログラミングからロボットの基礎的な仕組みを学びます。本研究室で開発したロボットは、特殊な手袋で自分の手の動きをロボットハンドに再現する「遠隔操作ロボット」であり、様々な場面で使用できることを期待しています。例えば、人的に危険な作業をロボットにさせることです。人間が遠隔操作でロボットを動かす、社会的貢献につなぐ用途について考えます。



■受入可能期間/応相談 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

道の駅おながわ、東日本大震災遺構旧女川交番、いのちの石碑

17 減災を意識した持続可能なまちづくりを学ばまちな歩き

受入可能人数 5~40人

所要時間 60分

【語り部ガイド】

生まれ変わった女川町を共に巡りながら、震災時の様子、震災前後の街並みの変化などをガイドします。さらに、自分の住んでいる町で災害が起きたら、どのような被害があるかなど、考える機会となるよう案内に努めています。行程や学習の目的、お時間によって内容を調整いたします。



■受入可能期間/通年10:00~16:00 ■料金/550円より(1人) ■該当市町村/女川町

NPO法人こころの森

19 石巻南浜復興祈念公園で自然環境問題・地域貢献活動を学ぶ

受入可能人数 5~100人(応相談)

所要時間 60~180分

【座学・体験(植樹・森づくり等)】

津波で被災した地域につくられた公園で、森づくり活動や、テーマに沿った座学をしながら、自然環境問題や地域貢献活動を学びます。 ※植樹・森づくり体験のみの受入も可能です(最大200人 料金等詳細は要問い合わせ)



■受入可能期間/通年 ■料金/1,000円(1人) ※ジェラート付き ■該当市町村/石巻市

3 地元に興味を持ち、地元を活気づけるための方法を身につける

受入可能人数 5~10人(2グループまで)

所要時間 120分

【座学・調理体験】

東松島市の特産品である「海苔」の魅力に分かりやすくかつ明確に形成し、東松島市だけではなく、国内外に「東松島産海苔の良さ・魅力を広める」ことを目的として取り組んだ活動を紹介いたします。そして、本活動を行っている学生と一緒に海苔を使った新製品開発を議論しながら、実際に制作してみましょう。



■受入可能期間/8月の夏休み・2月の春休み期間中 ■料金/施設利用料と原材料費(要相談) ■該当市町村/石巻市

4 「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを学ぶ

受入可能人数 5~10人(2グループまで)

所要時間 120分

【座学・フィールドワーク・ワークショップ】

観光客が魅力を感じるポイントは、「地域の暮らし」です。その「暮らし」を豊かにするためには、住民が地域の魅力に気づき、楽しむことが必要です。庄子ゼミでは、里山保全および冬・夜の賑わい創出のため竹を活用したイベント「竹こもればいびナイト」の実施やまち歩きコースの作成などを行ってきました。「地域の魅力をどう引き出し活用していくか」について、これまでの取組紹介、まち歩きやワークショップを通して、学んでいきます。



■受入可能期間/火曜日 13:30~17:30(他曜日は要相談) ■料金/無料予定(別途会場費、施設見学費がかかる場合あり) ■該当市町村/石巻市

株式会社 齋武商店 本社 三河町工場

21 モノを大切にすることとマテリアルリサイクルの「リアル」

受入可能人数 1~60人

所要時間 30~60分

【工場見学・説明】

「3R」という言葉はよく聞きますが、その「リサイクル」の部分で、各家庭・企業から排出されたマテリアルリサイクルの原料がどのようなプロセスを経て、製鉄工場(鉄スクラップ、非鉄スクラップ)、製紙工場へ搬入され、再利用されるかの理解の一助となると思います。それに伴い、モノを大切にすることとマテリアルリサイクルの「リアル」を体験していただきたいと思います。ゴールに対する紐付けは6目標で以下の項目です。

- 1.質の高い教育をみんなに
 - 2.住み続けられるまちづくりを
- 再生品の利用、マテリアルリサイクルを学べる教育の機会を提供する
使用済みの製品(廃棄物)の分別をして再利用を図り、資源の有効活用を図る



- 3.つくる責任 つかう責任
 - 4.気候変動に具体的な対策を
 - 5.陸の豊かさを守ろう
 - 6.パートナーシップで目標を達成しよう
- 消費者の持続可能な社会形成への参画意識を醸成する
ごみの資源化による脱炭素社会の実現に貢献する
紙リサイクルの役割→森林資源の持続可能な利用に貢献する
鉄リサイクル→鉱物資源(石炭、鉄鉱石)の持続可能な利用と削減に貢献する
多様なステイクホルダー(市民、企業、団体)が連携し、持続可能な社会を実現する
■受入可能期間/通年 ■休業日/土・日・祝 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

宮城県水産高等学校

22 豊かな三陸沖で「船・漁・食」を通してSDGsについて学ぶ

【座学・各種体験】

水産高校は、海に生業を求める人材育成・水産・海洋関連産業の担い手育成が大きな目標です。本校で行っている食品加工業等の学習や実習、船舶従事者の後継者育成もこのうちの一つです。

1 「魚食文化・郷土料理の普及」「鯨食文化の食育」体験学習

受入可能人数 10~20人

所要時間 60~180分

【魚食文化・郷土料理の普及】

石巻地域の魚食に関する歴史や文化の成り立ちを学習し、調理実習の体験を通して、魚介類に関する知識を学ぶことができます。また、郷土料理を製作することで地域に伝わる伝統食や地元の食文化を学びます。

【鯨食文化の食育】

かつて捕鯨は昭和の食卓を支えた産業でもあり、現代においても他の水産資源量を適正化し、持続可能な水産業を実現するためには必要不可欠な産業です。地域に伝わる鯨肉の調理実習を体験することで鯨を身近に感じたり、地域の鯨食文化について学びます。

■受入可能期間/要相談 ■休業日/土・日・祝・年末年始・お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/要相談 ■該当市町村/石巻市

2 「食品工場見学と思い出缶詰づくり」体験学習

受入可能人数 10~20人

所要時間 60分

水産加工業を含む食品製造業は、人間の生活に不可欠であり、日本の食品加工技術は今後考えられる食糧不足等の解決に寄与するものです。

今回の体験では、缶詰の歴史や構造原理を学習するとともに、実際に缶詰が出来る工程を体験していただきます。缶詰についての学びを通して、人類が培ってきた食に関する技術を感じてください。

■受入可能期間/要相談 ■休業日/土・日・祝・年末年始・お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/要相談 ■該当市町村/石巻市

3 「船用エンジン始動」体験学習

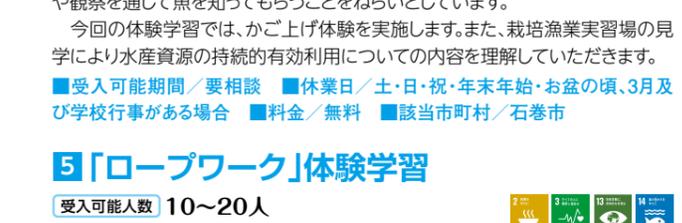
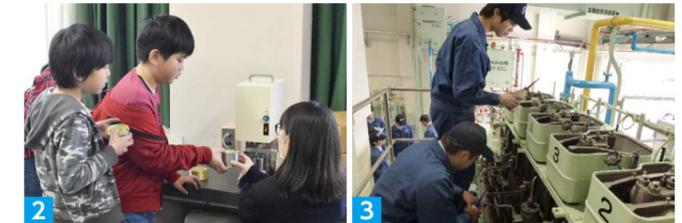
受入可能人数 5~15人

所要時間 60分

船舶は、将来の日本の食料問題(漁船による水産物生産)及びモーダルシフトに代表される物流に関する問題(商船による物流)等の解決に寄与することが期待されています。

今回の体験学習では、船舶で使用される大型エンジンの始動、運転を実施します。エンジンの運転をおとして船舶が将来にわたって私たちの生活を支える存在であることを感じてください。

■受入可能期間/要相談 ■休業日/土・日・祝・年末年始・お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市



4 「かご上げ体験・栽培漁業実習場見学」体験学習
受入可能人数 5~12人
所要時間 60~180分
海洋生物に直接触れ、採集、測定、形態観察、飼育などの基礎的な知識、実験や観察を通して魚を知ってもらうことをねらいとしています。
今回の体験学習では、かご上げ体験を実施します。また、栽培漁業実習場の見学により水産資源の持続的有効利用についての内容を理解していただきます。
■受入可能期間/要相談 ■休業日/土・日・祝・年末年始・お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

5 「ロープワーク」体験学習
受入可能人数 10~20人
所要時間 60分
船舶は、将来の日本の食料問題(漁船による水産物生産)及びモーダルシフトに代表される物流に関する問題(商船による物流)等の解決に寄与することが期待されています。
今回の体験学習では、船舶での作業の基本であるロープワーク(ロープの結び方、つなぎ方)及び災害時に役立つロープワークを実施します。ロープワークを通して防災・減災の知識及び船舶が将来にわたって日本を支える重要な役割を担うことを感じてください。
■受入可能期間/要相談 ■休業日/土・日・祝・年末年始・お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

おしかホエールランド

23 牡鹿半島沖に生息する鯨類を通して宮城県の海と海洋生物への理解を深める

受入可能人数 5~20人
所要時間 60~90分

【説明・観察・体験】
館内に展示してある全身骨格標本を材料に、鯨類の体のつくりについて学びます。その後、牡鹿半島に漂着した小型ハクジラ類(イルカ)の骨の標本を使い、実際に標本の組み立て作業を行い、鯨類の体の仕組みを通して海洋生物への関心を高め、海洋への理解を深めます。
1.鯨類についてのレクチャー:15分
2.館内に展示している骨格標本の観察(解説を含みます):15分
3.実際の鯨類標本を用いた骨の組み立て作業:30~60分程度
■受入可能期間/通年 ■休業日/水曜日(祝日の場合は翌平日)
■料金/無料 ※入館料は別途必要 ■該当市町村/石巻市



宮城県水産技術総合センター

24 宮城の水産業や海洋環境を学ぶ

受入可能人数 1~40人
所要時間 90分程度

【講話・施設見学】
宮城県沿岸域を含む三陸沿岸海域は、寒流と暖流の影響を受ける複雑な海域で、「混合域」と呼ばれています。この海域は暖水性と冷水性の両方の魚介類が来遊する世界的にも豊かな漁場でもあります。この恵まれた海域で営まれている水産業や海洋環境の理解を深めます。
1.職員による講話(30~60分) 2.施設見学(30分)
■受入可能期間/通年(平日のみ) ※月1回程度の受け入れ ■料金/無料
■該当市町村/石巻市



KIBOTCHA(キボッチャ)

26 地球の恵みを無駄なく活用する大切さを伝える

受入可能人数 10~200人(1グループ40人)
所要時間 約120分

【座学・フィールドワーク・体験】
KIBOTCHAは東日本大震災で被災し廃校となった旧野蒜小学校を改装して生まれた防災体験型学習施設です。このプログラムでは牡蠣の養殖棚に使用された竹や竹林伐採で廃棄された竹を利用して竹あかりを制作します。
■受入可能期間/通年 ■休業日/火曜日(祝日の場合は翌日)
■料金/2,200円(1人) ■該当市町村/東松島市



栗駒山麓ジオパークビジターセンター

28 栗駒山麓で起こった過去の自然災害から、自然への想像力と地球を守る気持ちを養う

受入可能人数 1~100人
所要時間 60~180分

【座学・施設見学・フィールドワーク】
栗駒山麓ジオパークビジターセンターでは、パネル展示やシアター映像などから、栗駒山麓の大地のなりたちや、自然災害を乗り越え豊かな文化を育んできた人々の営みを知ることができます。また、館内見学やフィールド学習・体験を通して、質の高い教育をみなさんに提供する取り組みなどを進めています。
※グループでの見学を希望する場合は事前にお問い合わせください
■受入可能期間/通年 ■休業日/火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12/29~1/3) ※山間部のフィールド学習は12月~4月末まで不可
■料金/入館無料、ガイド料2,000円(ガイド1人/1時間)
■該当市町村/栗原市

一般社団法人 雄勝花物語

25 災害リスクに強い防災まちづくりおよび被災後のまちづくりの事例から学ぶ

受入可能人数 20~80人
所要時間 13時間 26時間

【講話・まち歩き】
東日本大震災の大津波で壊滅的被害を受けた石巻市雄勝町を復興するために雄勝花物語を設立し、雄勝ローズガーデンを造りました。地域課題の解決策として「雄勝ガーデンパーク事業」を推進し、北限のオリーブ栽培に取り組んでいます。講話では、教員として復興まちづくり委員を務め、復興案の立案に携わった経験を踏まえて防災上の教訓やまちづくりについてお話しします。
1 防災とまちづくり講話+防潮堤の見学と高台移転地のまち歩き(移動含め3時間)
2 1+昼食+ボランティア(移動含め6時間) ※事前オンライン学習対応可能
■受入可能期間/通年9:00~16:00 ■休業日/火曜日(教育旅行は受入可)・年末年始 ■料金/講話:高校生以下770円(1人) 防潮堤見学+まち歩き:10,000円(1団体) ■該当市町村/石巻市



宮城県松島自然の家

27 防災クッキングを通して節水や省エネについて学ぶ

受入可能人数 3~80人程度(16グループまで)
所要時間 90~120分

【調理体験】
災害発生等の非常時を想定し、限られた水とエネルギーを使ったポリ袋クッキングなどを体験します。節水や省エネへの意識が高まるとともに、日常生活への適用も期待できる内容です。「ごはん」「オムレツ」「シチュー」「ポテトサラダ」などメニューも豊富で、あたたかい食事の大切さを感じ取れる活動です。
■受入可能期間/通年 ■休業日/月・年末年始・年度末年度始
■料金/野外炊飯棟使用料20円(1人) ※食材・ガスカートリッジは来訪例が用意 ■該当市町村/東松島市



国立花山青少年自然の家

29 野外炊事(カレー作り)をとおして環境への配慮を考える

受入可能人数 4~320人程度
所要時間 約3~4時間(食事、片付けを含む)

【野外炊事】
野外でかまどを使ってカレー作りを行うことで、グループでの協力や工夫することの大切さ、節水やゴミ削減など環境への配慮について学ぶことができるプログラムです。調理前に、「排水を少なくしよう」「ゴミを少なくしよう」「資源を大切にしよう」「その他にできること」の4つのテーマに沿って、自分たちができることを話し合い、実際に工夫して作って食べてみることで、その後の振り返りを通して、より主体的に環境に配慮した食生活のあり方について学ぶことができます。
■受入可能期間/通年(ただし、冬季12~3月までは野外炊事場閉鎖のため受入人数に制限有り) ■休業日/12/28~1/4 ■料金/カレー材料代620円(1人) ※料金は令和6年4月1日現在 ■該当市町村/栗原市



みやぎ大崎観光公社

30 世界農業遺産『大崎耕土』



【調理体験】
農家の「ごっつおう(ご馳走)」といえば餅で、古くからお祭りやお祝い事、おもてなしなどの行事食として食べられてきました。特に全国トップクラスの生産量を誇る大豆を使った伝統食「ずんだ」を使った「ずんだ餅」は有名で、この「ずんだ餅」づくりを通して、世界農業遺産の食文化や、食の大切さを学びます。
1.説明(5分) 2.ずんだ餅づくり体験(60分) 3.実食(20分) 4.総括(5分)
■受入可能期間/通年 ■料金/2,200円(1人) ※別途会場代、会場設営費発生 ■該当市町村/大崎市



1 世界農業遺産に認定された大崎耕土で生物多様性と自然との共生を学ぶ

受入可能人数 10~40人
所要時間 約180分 ※移動時間も含む

【フィールドワーク】
ラムサール条約湿地「化女沼」は水鳥の重要な越冬地で、NPO法人団体による保全活動により多種多様な水草、四季折々の草花が見られます。そして、世界農業遺産に認定された広大な「大崎耕土」の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根(いぐね)」のこの居久根は、雨風から家を守るだけでなく、その敷地内の庭や畑を守り、またそこに住む様々な生き物たちの生息の場としての機能を果たしています。本プログラムでは、「化女沼」保全団体のガイドのもと植物と環境保全について、「居久根」の役割やそこの生活を学ぶことにより、先人の知恵を次世代へ継承していきます。
1.説明(化女沼ダム観光資料館30分程度) 2.散策(化女沼と化女沼環境ゾーン90分程度) 3.居久根の説明・散策(30分) 4.総括(10分)
■受入可能期間/通年 ■料金/1,100円より(1人) ■該当市町村/大崎市



2 世界農業遺産の地で育まれた食文化を学ぶ

受入可能人数 10~40人 所要時間 約90分

【調理体験】
農家の「ごっつおう(ご馳走)」といえば餅で、古くからお祭りやお祝い事、おもてなしなどの行事食として食べられてきました。特に全国トップクラスの生産量を誇る大豆を使った伝統食「ずんだ」を使った「ずんだ餅」は有名で、この「ずんだ餅」づくりを通して、世界農業遺産の食文化や、食の大切さを学びます。
1.説明(5分) 2.ずんだ餅づくり体験(60分) 3.実食(20分) 4.総括(5分)
■受入可能期間/通年 ■料金/2,200円(1人) ※別途会場代、会場設営費発生 ■該当市町村/大崎市



3 世界かんがい施設遺産「内川」周辺のフィールドワークを通して水管理システムを学ぶ

受入可能人数 10~40人
所要時間 約180分

【フィールドワーク】
大崎耕土は、季節風「やませ」や洪水、水不足など、米作りをするには厳しい地域ですが、水路の開拓や洪水対応など、苦勞を重ねながら、水を巧みに管理する「水管理システム」を構築しました。本プログラムでは、伊達政宗公が切り開き、現在は世界かんがい施設遺産に登録される「内川」周辺のフィールドワークを通して、現在も引き継がれる「水管理システム」について学び、先人の知恵を「生きた遺産」として未来へ引き継ぎます。
1.説明(10分) 2.内川周辺のフィールドワーク(内川・旧有備館及び庭園等160分程度) 3.総括(10分)
■受入可能期間/通年 ■料金/1,100円より(1人) ■該当市町村/大崎市

31 鳴子温泉で循環型森林
【森の循環・水の循環】を学ぶ



1 新しい森の循環

受入可能人数 7~20人
所要時間 ①90分 ②180分

【施設見学または森散策】

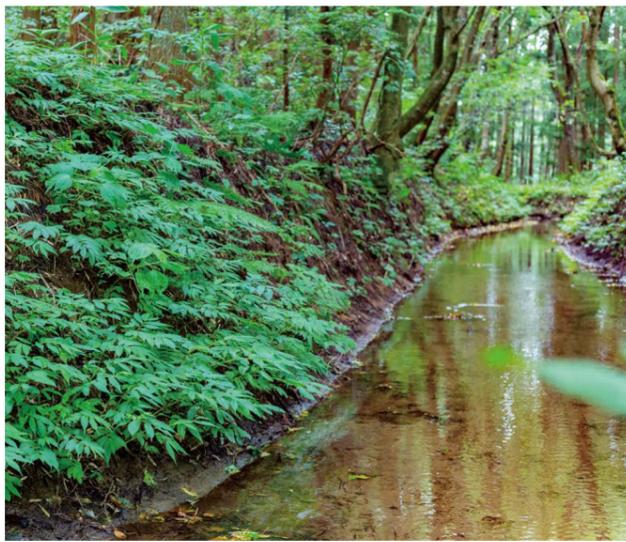
鳴子温泉では建材や工芸品に加えて、エネルギーとして木材を利用する、新しい森の活用が始まっています。「サステナヴィレッジ」と名付けられた地域産材で作られた集合住宅では、未利用材で電気と熱を作り、暮らしのエネルギーとして住宅に供給しています。建材や燃料となる木材を供給するのは、「エコラの森」。100年の森づくりに取り組む林業の現場で、こけしの材になるミズキの植林も行われています。

①サステナヴィレッジの見学(90分)

②サステナヴィレッジの見学+エコラの森のもり歩き(180分)

■受入可能期間/通年(応相談)

■料金/①5,500円(1人) ②8,800円(1人) ■該当市町村/大崎市



2 歴史を重ねた水の循環

受入可能人数 7~20人
所要時間 90分

【見学】

「もり」は私たちの暮らしに欠かせない水を生み出します。大崎地域では、豊かな水資源を活かし、水田農業によって生産を維持してきました。鳴子温泉には1640年代の築造以来、地域経済を支え続ける水路「南原穴堰」があります。水は時として洪水や干ばつ等の災害を引き起こしますが、「鳴子ダム」が大崎耕土の暮らしの安全を守っています。また、森に浸透した水は、地熱と出会う温泉となって地上に湧き、私たちに癒してくれます。

◎南原穴堰の見学(90分)

■受入可能期間/通年(応相談)

■料金/5,500円(1人) ■該当市町村/大崎市

32 地域資源の付加価値化を学ぶ
《地産地消等優良活動表彰 農林水産大臣賞受賞》



1 農業の6次産業化と新しい地域づくりを考える

受入可能人数 10~40人 所要時間 60分~

【施設見学・フィールドワーク】

地域資源を活用した「生産~加工~販売」の6次産業化の取り組みと、地域住民を主役にした新しい農村産業モデルについて学ぶプログラムです。

■受入可能期間/通年 ■休業日/年末年始 ■料金/1,100円(1人)ソーセージの試食付き ■該当市町村/登米市

2 地域の食文化にふれる食農体験

受入可能人数 10~40人 所要時間 90分~

【調理体験】

地元食材を使った調理体験を通して、農産物の生産現場を知り、食べ物がつくられる工程や地域の食文化を学びます。体験内容は手づくりウインナーまたは郷土料理体験(はっと料理)を選択できます。

■受入可能期間/通年 ■休業日/年末年始 ■料金/2,200円(1人)

■該当市町村/登米市



33 もくもくハウス
未来を創る子供たちに木の文化を伝える



受入可能人数 10~30人
所要時間 40~60分

【座学・施設見学・体験】

木工クラフト品のデパート「もくもくハウス」。杉の間伐材利用から始まった矢羽細工など、多彩な木工品の製作・販売を手掛けています。木工の体験教室では、クラフトキットを使って、木工品を作ることができます。木の優しい温もりを感じ、ものづくりの楽しさを味わってください。これからの未来を創る子どもたちが、木に興味を持ち、森林問題について考えるきっかけになればと思います。

■受入可能期間/通年 ■休業日/年末年始

■料金/660~1,320円(1人) ■該当市町村/登米市

34 阿部長商店×板倉農産
「水産業」×「農業」で持続可能な食の循環を体験
(2023年食材王国みやぎ推進優良活動ブランド化部門特別賞受賞)

受入可能人数 10~100人

所要時間 3時間程度

【座学・農業体験】

持続可能な「食」の循環の取り組みとして、当社の水産加工食品工場が発生する魚の不可食部分を廃棄せずに魚粉に加工し、契約農家である登米市の板倉農産で肥料として利用するお米作りに取り組んでいます。体験プログラムとしては、田植え体験、稲刈り体験ができます。



■受入可能期間/5月中旬~5月下旬、9月下旬~10月上旬

■料金/2,000円より(1人) ※要相談 ■該当市町村/登米市

36 丸文松島汽船株式会社
東日本大震災松島地域の伝承と
減災防災を学ぶ・松島湾の養殖産業を学ぶ



受入可能人数 ①12 15~430人 ※応相談

③15~45人

所要時間 約50分~

1 震災防災を学ぶ

【座学(遊覧船内)】

自分を取り巻く地域全体との拘わり、その繋がりの大切さ、自分の想いをその時に伝えることの大切さ、防災・減災に繋がる伝承等を学びます。

2 松島湾の養殖産業を学ぶ

【座学(遊覧船内)】

カキ養殖を中心とした座学(カキむき現場、外から見学可)

3 伝統野菜「仙台白菜」を学ぶ

【座学(遊覧船内)・フィールドワーク】

仙台白菜の歴史などの座学(野々島にてフィールドワーク可) ※シーズンにより不可の場合あり

■受入可能期間/通年 ■休業日/無休 ※荒天時運休

■料金/小学生:680円(1人) 中・高・大学:1,050円(1人) ※いずれも引率教員同額 ■該当市町村/塩竈市・松島町

38 株式会社TBM 東北LIMEX工場
宮城で生まれた新素材を通じて
持続可能な未来を考える

受入可能人数 見学通路:3~20人

所要時間 見学通路:30分程度

【工場見学・説明】

TBMは、「進みたい未来に、橋を架ける」をミッションに掲げ、未来を見据えた様々な事業に取り組んでいます。身の回りのプラスチックや紙の代替となる新素材「LIMEX(ライメックス)」は、水や石油などの希少な資源の保全、温室効果ガスの抑制、回収・循環による廃プラスチック問題等の解決に貢献できます。宮城で生まれた新素材の生産現場の見学を通して、地球の未来を守るための選択肢について考えます。

■受入可能期間/平日10:00~15:00 ■料金/無料

■該当市町村/多賀城市

35 特定非営利活動法人ふうどばんく東北AGAIN
フードバンクや子ども食堂支援・地域コミュニティ
(居場所づくり)などについて学ぶ

受入可能人数 1~10人(時間帯による)

所要時間 60~90分

【座学・事務所見学】

2008年に設立した東北一古いフードバンク団体として、東日本大震災での被災者支援・コロナ禍の困窮者支援を経て、16年目を迎えました。開発目標ができる前から活躍してきた当団体ですがとても関係が深く、昨今はゼロカーボン運動やフードロス削減の観点からも注目を集めています。フードバンクの話から、フードバンク活動をめぐるコミュニティの作り方、今私たちに何ができるか?を座学や事務所見学を通して一緒に考えます。



■受入可能期間/平日10:00~15:00 ■休業日/土・日・祝

■料金/応相談 ■該当市町村/富谷市

37 さんみらい多賀城・復興団地
新たな価値を創造する防災・減災拠点



受入可能人数 応相談(概ね20人以上から)

所要時間 60分~

【説明・団地内まち歩き】

東日本大震災で大きな被害を受けた多賀城市が、その経験を活かして造成した「さんみらい多賀城・復興団地」。災害時には一時的な避難場所機能や物資の提供を發揮し、また被災した企業が操業を継続できるよう立地企業による被災企業への支援機能を有します。造成した経緯を説明した後、立地企業や、被災時に備蓄品や支援物資の発送拠点等となる「さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)」がある団地内を歩きます。

■受入可能期間/平日10:00~15:00

※業務の都合により希望に沿えない場合有り

■料金/無料 ■該当市町村/多賀城市



39 JRフルーツパーク仙台あらはま
津波被害の集団移転跡地で東北を元気にする!を
合言葉に震災復興や地域連携、農業振興を学ぶ

受入可能人数 5~40人
所要時間 90~120分

【座学・農業体験】
仙台市荒浜地区はかつて人々が住まい田畑が広がる長閑な地域でしたが、東日本大震災の津波によりその全てがのみこまれてしまいました。仙台ターミナルビル側は、この地をもう一度人々の笑い声と笑顔が集う場所にしたいという想いを胸に、震災から10年目の2021年に体験型観光農園「JRフルーツパーク仙台あらはま」を開業しました。震災から復興への講話や、果樹・野菜栽培の農業体験ができるプログラムです。※このプログラムは小・中学生対象となります

■受入可能期間/通年10:00~16:00 ■休業日/火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始 ■料金/要相談 ■該当市町村/仙台市

41 せんだい農業園芸センター みどりの杜
「みどりの大切さ」を知ろう

受入可能人数 5~60人程度
所要時間 50~90分

【座学・農業/園芸体験】
「せんだい農業園芸センター みどりの杜」は都市からほど近い公園施設でありながら、多様な自然環境や農業環境を目にすることができます。また、東日本大震災の津波被災地でもあります。園内をガイドと共に散策しながら、自然と人との交流拠点である公園の在り方や、震災後の経過の一端について学ぶことができます。

1.座学(約15分) 2.園内散策(約35分) 3.農業・園芸体験(約40分)※要相談

■受入可能期間/通年 ■休業日/月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始 ■料金/要相談 ■該当市町村/仙台市

42 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
仙台フィルから学ぶ
音楽と人のかかわり

受入可能人数 1 5~20人程度(20人以上は要相談)
2 2~5人程度
所要時間 1 150~180分程度
2 90分程度

【見学・座学/座学・インタビュー】
仙台フィルハーモニー管弦楽団は「楽都仙台」を拠点に活動しているプロのオーケストラです。年9公演の定期演奏会をはじめ、仙台国際音楽コンクールのホストオーケストラや文化庁による全国小中学校での巡回公演など、年100回を超える活動を行っています。東日本大震災ではオーケストラも被災しましたが、避難所や仮設住宅等を訪問し復興コンサートを行ってきました。現在も、被災された方のもとに音楽を届けながら絆をつなぐ活動を続けています。また、障害をお持ちの方を対象としたコンサートや0歳から体験できるコンサートなど、普段演奏会へ足を運ぶことが難しい方たちへ音楽を届ける取り組みも行っています。

1 リハーサル見学+オーケストラ講座
1.リハーサル見学レクチャー(約20分)
2.リハーサル見学(約60分)
3.オーケストラ講座(約90分)

2 オーケストラ講座+事務局員インタビュー
1.オーケストラ講座(約1時間) 2.事務局員見学・事務局員インタビュー(約30分)
※日程によって実施可能なプログラムが変わります。詳細はお問合せください。

【オーケストラ講座】オーケストラの基礎や演奏会を支える事務局の仕事、震災後の仙台フィルの活動などをお話いたします。(ご希望によって内容を検討いたします)

■受入可能期間/お問い合わせください ■料金/無料(講座実施にあたり別会場が必要な場合は会場費が発生) ■該当市町村/仙台市

40 仙台商みの杜水族館
バックヤード見学を通して、水族館における
生態飼育の方法や展示の工夫を学ぶ

受入可能人数 各回30人(15人×2班)を1日3回 ※1か月前まで予約が必要
※当日の状況により案内する場所が変更となる場合あり

所要時間 バックヤードツアー 約30分

【バックヤード見学 館内自由見学】
水族館の裏側「バックヤード」の見学を通して、児童や生徒を対象に、海や海の生きものについてご案内いたします。見学の中で生まれた疑問にスタッフがお答えします。学習を通して、より深い学びと海の持つ恵み・豊かさを学んでいきましょう。

1.冷凍庫…飼料の保存だけじゃない!餌の種類と冷凍の理由
2.標本棚…どんなさわり心地?生態を標準化する意味と個体特徴の解説
3.屋上…屋根がない水槽!より自然環境に近い生態展示へのこだわり

※このプログラムは小・中学生対象となります

■受入可能期間/通年 ■休業日/無休
■料金/100円(1人)※入館料は別途必要 ■該当市町村/仙台市

43 仙台管区気象台
気候変動について学ぶ
(気象観測機器等の見学)

受入可能人数 5~10人程度
所要時間 60~90分程度

【説明・施設見学】
仙台管区気象台では、風向風速、気温、湿度、雨量、積雪などを365日休まず観測しています。観測結果をもとに気温などがどのように変化しているのか、気温の変化が植物や地球環境などにどのように影響しているかなどを学べます。また、天気予報などを発表する場所をご案内し、作業内容等を説明します。

■受入可能期間/要相談(気象状況、地震等への緊急対応時、業務繁忙時には対応できない場合あり) ■休業日/土・日・祝・年末年始 ■料金/無料 ■該当市町村/仙台市

44 仙台七夕まつり協賛会
仙台七夕まつりの歴史と今を学び
持続可能な地域の祭りを考える

受入可能人数 5~15人程度 ※要相談
所要時間 60~120分 ※要相談

【座学・インタビュー・体験】
伊達政宗公の時代から続く伝統行事として受け継がれる仙台七夕まつり。まつりにかかわる地域の人々との対話を通じて、まつりを様々な観点から学び、仙台七夕まつりや自分たちの住む地域の祭りを未来へと継承することの大切さ、そのためにはどういったことができるかを考えます。

■受入可能期間/通年 ■休業日/土・日・祝 ■料金/無料(ただし、体験の内容によっては別途諸経費がかかる場合あり) ■該当市町村/仙台市

45 宮城第一信用金庫
「信用金庫のSDGs」について学ぶ

受入可能人数 3~10人
所要時間 90分程度

【講話・ワークショップ】
宮城第一信用金庫ではSDGsの活動の一環として学生の皆さんに向けて金融リテラシー教育を実施しています。お金の正しい使い方について学び、「銀行と信用金庫の違い」や「信用金庫の活動がどうSDGsに結び付いていくか」について知っていただきます。お金の正しい教え方(札勘)などの体験プログラムも用意しています。

■受入可能期間/通年12:00~17:00 ■休業日/土・日・祝・年末年始(12/31~1/3) ■料金/無料 ■該当市町村/仙台市

47 リコージャパン株式会社 宮城支社
価値あるオフィスへのチャレンジ

受入可能人数 6~10人
所要時間 90分

【座学・オフィス見学】
私たちリコーはSDGsを経営の中心に据え、デジタルサービスの提案を通じ「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす」ことを使命としている企業です。

「価値あるオフィスへのチャレンジ」をテーマに、働きがいや経済成長に繋がる社内実践を座学とオフィス見学でご紹介します。

■受入可能期間/通年 ■休業日/土・日・祝 ■料金/無料 ■該当市町村/仙台市

48 八木山動物公園フジサキの杜
自然環境を守るために、
動物たちから学び考える

八木山動物公園は、仙台市内に位置する動物園で、116種約540点の動物を飼育・展示しています。同時に、博物館相当施設として教育活動にも力を入れており、当園で働く飼育員や獣医師から話を聞くことができる「学習プログラム」などを実施しています。

学習プログラムは全部で19個ありますが、その中で環境について学ぶことのできるプログラムには以下のようなものがあります。

※所要時間は、プログラム実施にかかる時間のみを記載しています。プログラムの他に園内をご覧になる場合は、目安として1~2時間程度かかります。

■受入可能期間/①10月中旬~2月中旬(八木山動物園での活動単独の場合は通年) ②通年(先着順) ③通年(先着順)
■休園日/水曜日(祝日の場合は翌木曜日)・年末年始
■料金/無料 ※別途入園料が必要となる場合があります
■該当市町村/仙台市(①の②のみ大崎市での実施)

1 ガンガン知ろう シジウカラガン!
受入可能人数 10~30人程度
所要時間 ①30分程度(八木山動物公園) ②60~120分程度(無葉沼・化女沼)

【①座学 ②フィールドワーク】
毎年冬になると宮城県北部の沼に渡ってくるシジウカラガン。かつては仙台市内でも見られていた渡り鳥の一種でした。しかし、一時羽数が激減し、絶滅の危機にありました。当園が取り組んだシジウカラガン羽数回復事業について飼育員が解説し、地域の自然環境の大切さを学びます。また、野生動物の生息地とながりをもち、身近な自然を守るために自分たちにできることを考えます。

①八木山動物公園での活動
②無葉沼・化女沼での活動 ※大崎市との連携(ガイドブックP55参照/受入可能期間10月中旬~2月中旬) ※①のみでも実施可能

46 株式会社ケンジン仙台office
老朽化した建物改修工事を通じ、住み続けられる
まちづくり・働きがい・環境問題・地域防犯等を学ぶ

受入可能人数 1~10人 所要時間 120分

【座学・体験】
◎多種多様な工種の建設職人を配備する事で、多能工化(教え合う)を促進でき、働きがい向上にも繋げる事ができます。また、経営に関する事を教える事で、価値観の多様化にも繋がることを学びます。

◎当社には「見守り職人110番」という地域社会に対する防犯貢献活動を行っております。工事をしながら地域の防犯活動にも協力をするという取り組みを学びます。(不審者への対応、怪我人の救護、高齢者への配慮)

◎地域で定期的な地域清掃活動も行い、グリーンで安心して住み続けられるまちづくりに貢献している姿を学びます。

◎座学で強く発信したい内容(考え方)
企業として健全な事業展開を行いながら、同時に社会問題を解決するようなアプローチをする事が重要であり、それが持続可能な社会創りに貢献すると共に、結果的に企業の永続的な経営にも繋がります。今回のプログラムでは、当社メイン事業の1つである「街のリフォーム屋さん」事業をピックアップし、企業としての根本的な事業デザインの考え方にも言及し、スタートアップ企業としての持続可能な経営や開発目標達成までの道のりについて、お話しできればと思います。

座学について
上記にある、強く発信したい内容(考え方)についてお話しします。

体験について
近場で工事中の一般戸建に移動し、防犯活動の見学や、地域クリーン活動大作業を体験してもらいます。(地域清掃活動)

■受入可能期間/3~12月(冬季は工事ストップとなるため)
■休業日/日・祝 ■料金/無料 ■該当市町村/仙台市

2 スマトラトラを守りタイガー!

受入可能人数 10~30人程度
所要時間 30分程度

【座学・フィールドワーク】
世界の絶滅危惧種の中には、人間の活動による影響で数を減らしている種もいます。トラの中でも特に生息数が少ないスマトラトラを例に、その生態や数を減らした原因について飼育員がお話します。また、動物園が取り組む「種の保存(希少種の繁殖)」についても紹介します。日本から離れた遠い場所に生息している動物に私たちが及ぼす影響と、私たちができることを実践例を交えながら考えます。

3 ゾウ糞エコサイクル
受入可能人数 10~30人程度
所要時間 全2回 各回45~60分程度

【座学・フィールドワーク】
アフリカゾウのすむアフリカの森では、ゾウが大量の植物を食べ、移動した先でその種が糞に混じって出てくることで新しい芽が生えてきます。動物園のゾウの糞を堆肥化して野菜を栽培、育てた野菜をゾウに与えることで、自然界でのサイクルを体験します。ゾウが自然界で担っている役割や、生息数が減ることによる影響についても同時に、動物を保全することの意義について考えます。

※1回目はゾウについての講義、その後学校で野菜を栽培し、2回目は育てた野菜をゾウに与えます

一般社団法人 ONE TOHOKU HUB
49 ワクワクできるまちってどんなところ？
 ～自分たちの街のまちづくりについて考えてみよう～



受入可能人数 **1～200人程度** (会場次第、要相談)
 所要時間 **約90～120分** (調整可能)

【講話・ワークショップ】
 ONE TOHOKU HUBの想いや取り組みについての話を聞き、街を元気にするマインドやヒントについて学びながら、自分たちの街に置き換えて「じぶんごと」としてどのような「まちづくり」に関わることができるかをグループワーク形式で学ぶことができるプログラムです。事前学習にて自分のまちづくりの取り組みを調べ、事後学習にてグループごとにプレゼンテーションを組み合わせることでより学習効果が高まります。
 ※プログラム内容は中学生、高校生、大学生などニーズに合わせた形でカスタマイズが可能です

■受入可能期間／**通年** (スケジュールは要相談)
 ■料金／1クラス(40人まで) **11万円～目安** (要相談) ※会場は来訪側での予約手配・費用ご負担をお願いしております
 ■該当市町村／**仙台市**

仙台長町未来共創センター
50 地域を守る防災型リバーシブルビルで
 災害への備えを学ぶ

受入可能人数 **15～60人** / 回 ※複数回での受入可
 所要時間 **60～90分**

【施設見学・座学】
 「仙台長町未来共創センター」は、「平常時と非常時で機能が変わるリバーシブル・ビル®」として開発された施設です。平常時はオフィスビルでありながら、非常時は帰宅困難者の一時受け入れを行う防災施設となります。施設内に保管されている備蓄食糧の試食、避難所体験や、停電時にも電気を使わない設備の見学を通して防災について学ぶことができます。

■受入可能期間／**通年** ■休業日／**土・日・祝・年末年始**
 ■料金／**応相談** ■該当市町村／**仙台市**



鐘崎総本店 笹かま館
51 宮城の「かまぼこ文化」&
 「低利用魚」についての体験・学習

受入可能人数 **1～36人**
 所要時間 **90分程度**

【講話・体験】
 昔の人の「もったいない」から生まれた「笹かまぼこ」。その歴史や作り方について講話で学び、実際に笹かまぼこの手作り体験に挑戦します。また、せっかく獲れても海に廃棄されてしまいがちな「低利用魚」について、その特徴や課題、活用することで生まれる地域へのメリットなどについてもお話しします。体験では、実際にすり身を手でこねて、笹かまぼこを焼き上げ、焼きたてを味わえます。低利用魚の活用については、専用の冊子をお配りします。

■受入可能期間／**1～6月、9～11月の平日** ■休業日／**土・日・祝・1/1**
 ■料金／**2,000円目安(1人)** ※内容により金額が変動 ■該当市町村／**仙台市**



せんだい環境学習館 たまきさんサロン
52 多くの本や様々な講座を通して
 環境について学ぶ

受入可能人数 **10～140人** 所要時間 **60分程度～**
 【座学】

せんだい環境学習館たまきさんサロンは、東北大学青葉山キャンパス内にある仙台市の環境学習施設です。環境に関する図書(約3,500冊)や学習教材、様々な講座を通して、環境について学ぶことができます。たまきさんサロン(または東北大学講義室)で受けることができる講座は、以下に記載しているもの他、Webサイトでも紹介しています。

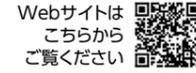
1 「防災」と「気候変動」

防災と気候変動の二つの課題は目標や内容などで関連し、SDGsの他の課題ともつながっていくものと捉えます。防災と気候変動を中心に取扱いつつ、再生可能エネルギーや食品ロス、海洋ごみなどの学習も創造・実践していきます。また、手回し発電機や、エネルギーのかばん等さまざまな環境学習グッズを使った体験型の授業も対応可能です。

2 川の生き物や環境に関する授業

広瀬川の環境や、広瀬川をはじめとする宮城県の河川に生息するサケやアユ、サクラマスといった川魚の生態や、釣り方などの利活用方法を紹介します。また東日本大震災で被災した、仙台市沿岸域の野生メダカの保全の取り組みについても紹介します。

■受入可能期間／**原則5月～翌年1月**
 ■休業日／**たまきさんサロン:月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日・年末年始**
 講座:要相談
 ■料金／仙台市内団体は予算の範囲内で無料、市外団体は有料(講師謝礼等)
 ■該当市町村／**仙台市**



東北大学災害科学国際研究所「みちのく震録伝」
53 自然災害とSDGsの関わりを学ぶ



受入可能人数 **10～100人** (それ以上は要相談)
 所要時間 **90～120分**

【座学】
 2011年東日本大震災で被災を受けた東日本では、SDGsの試みが様々な場所で行われております。自然災害とSDGsがどのような関わりがあるかを17の目標を説明しながら関係性について講義を行います。災害科学の専門家による考察と震災記録を用いた具体的な解説により、様々な角度から東日本大震災を学ぶことができます。

■受入可能期間／**通年** ■休業日／**土・日・祝**
 ■料金／**無料**(40人以上の場合、会場使用料5,500円が発生) ※別途、資料印刷代等で費用発生する場合有り
 ■該当市町村／**仙台市(県内出張可)**

東北福祉大学
54 多様なボランティアに取り組む学生との
 交流を通じて社会との関わり方を学ぶ



受入可能人数 **1～50人** (応相談)
 所要時間 **90～120分**

【ワークショップ】
 日本の福祉教育で草分け的な存在である本学は、2025年度より共生まちづくり学部を開設するなど、一人ひとりが自分らしく、より良く暮らせるWell-being(ウェルビーイング)な社会を担う人材育成を行っています。本プログラムでは、ボランティア活動やフィールドワークの経験が豊富な学生との相互交流を通じて、児童生徒自らの可能性や社会との関わり方を考えるきっかけを提供します。多様な人が共に生きる、暮らしやすい社会と一緒に考えてみませんか。福祉、防災、防犯、環境、地域創生など探究学習のテーマに応じて、対応可能ですのでご相談ください。

【ワークショップ】
 5～10人程度の班に分かれ、学生がボランティア活動を始めた動機、内容、気づきや課題、児童生徒へのメッセージ等を発表、質疑応答や交流を行います。※学生が携わっているボランティアは、福祉、教育、防災、防犯、環境、地域振興など多岐にわたります

■受入可能期間／**平日10:00～17:00** (学内行事のため受入不可の期間有り) ■休業日／**土・日・祝** ■料金／**無料** ■該当市町村／**仙台市**

仙台大学付属明成高等学校 食文化創志科
56 食文化創志科の取り組みについて学ぶ

1 「伝統の食文化と松島白菜の採種文化の保存活動」について学ぶ
 受入可能人数 **5～30人**
 所要時間 **120分** (島内での活動)
 明成高校食文化創志科では、2011年の秋から震災被災地である塩竈市の浦戸野々島にて「松島白菜の採種文化の保存活動」に取り組んでいます。本校の生徒らが地域との協働で進める地域伝統の食文化資源を活用したこの「新しいふるさとづくり」の活動も15年目を迎えました。食の学びの島にお越しいただき、自然と人の関わりから生まれる食の「豊かさ」を体験してください。※昼食などの手配はご相談ください
 ■受入可能期間／**通年** ■休業日／**応相談** ■料金／**資料代として300円(1人)** ※別途、塩竈市営汽船往復乗船料発生 ■該当市町村／**塩竈市**



2 調理体験を通して学ぶ明成高校食文化創志科の取り組み

受入可能人数 **5～25人** (応相談)
 所要時間 **60分** (明成高校内での活動)
 地域伝統の食文化の継承と発展に貢献する人材育成を行う食文化創志科では、食を通じた地域交流、地域と連携した食育活動に取り組んでいます。伝統食材、仙台味噌の大豆の種まきから食べるまでを学ぶ「みそでスマイル」、生産から商品化まで地域の様々な人が関わる「山かぼちゃ耕校プロジェクト」などの事例紹介や、調理体験を通じて、日々の食生活を豊かにすると共に、未来の食を守るためにできることを一緒に考えましょう。

■受入可能期間／**通年** ■休業日／**応相談**
 ■料金／**実施内容によって異なる**
 ■該当市町村／**仙台市**



2010年 キッズデザイン賞受賞

宮城大学太白キャンパス
55 持続可能で安定した食産業について学ぶ

受入可能人数 **10～30人** ※体験開始から終了までの教員の引率をお願いします
 所要時間 **120分程度**

【座学・見学・ワークショップ】
 「食べること」は、私たちにとって最も基本的で必要な行為であり、大いなる楽しみでもありません。その「食べること」を支える食産業の、SDGs時代にふさわしいあり方を考えていきましょう。

1.座学:50分 2.圃場や施設の見学:40分
 3.ワークショップ(参加者意見交換・討論):30分

■受入可能期間／**通年** (学生の試験期間中及び学内行事実施日を除く。その他、入試対応のため対応できない場合有り) ■休業日／**土・日・祝** ■料金／**基本無料** ■該当市町村／**仙台市**



東北工業大学
57 持続可能な社会を構築するために
 何ができるかを一緒に考える

受入可能人数 **20～60人** ※別途調整
 所要時間 **120～180分程度** ※別途調整

【フィールドワーク】
 本学は研究成果を地域の場で活かす地域連携にも力を入れており、本学が研究フィールドとしている県内3か所、実際にSDGsと関連する研究成果を見ながら学んでいきます。いずれも、歴史的景観、自然を利用した産業といった特徴を有し、地域の盛り上がりという点に問題意識を持っている地域です。持続可能な地域社会を構築するために何ができるかを一緒に考えていきます。下記3か所から選択してフィールドワークを行います。



登米市登米地区
 「みやぎの明治村」とも称される登米地区には、明治・大正時代に建てられた、文化的にも価値の高い建造物が多く存在しており、本学建築学・中村琢己研究室では、地域団体や所有者と協力し、これらの建造物の保存活用と、建造物を活かした観光振興・地域活性化に取り組んでいます。今後、歴史的な景観を残しながら地域活性化のためにどのような取組が考えられるでしょうか。

登米市津山地区
 津山地区では、豊富な山林資源を基に矢羽クラフト※等を利用した木工芸が盛んで、木工芸品等を主に販売している道の駅「もくもくランド」は地域振興のシンボルです。三陸道延伸の影響により売上額が減少し、木工芸の職人も高齢化が進み、後継者もいません。また令和元年東日本台風により、甚大な被害を受けました。木工芸の産業を持続させ、津山地区の地域活性化を図るために、どういったことができるかを考えます。
 ※間伐材有効利用の矢羽クラフトは東北工業大学工業意匠学科第三生産技術研究室と共同開発した製品です

石巻市雄勝地区
 東日本大震災による甚大な被害を受けた雄勝地区。人口流出や産業の喪失などの様々な課題に対し、本学では「雄勝硯」などの雄勝石産業の再生等を通して、復興支援に携わってきました。本学が行ってきた取組を学びつつ、人も産業も持続可能な社会にするためにできることはないかを考えます。

プログラムの流れ(例)
 1.フィールドワーク:講話:60分(現場視察、また現地の方の講話)
 2.ワークショップ:90分(対話を主としたワーク)
 3.発表・まとめ:30分(それぞれの学びを共有)

■受入可能期間／**平日10:00～16:00** (学内行事のため受入不可の期間有り) ■休業日／**土・日・祝** ■料金／**要相談** (講師費用、会場費、施設見学費等が発生) ■該当市町村／**仙台市・登米市・石巻市**

宮城教育大学防災教育研修機構(311いのちを守る教育研修機構)

58 震災教訓を伝え継ぎ、未来の地域づくりに活かす

受入可能人数 5~80人(応相談)
 所要時間 90分~ 場所は本学キャンパス内か沿岸被災地等(応相談)

【座学・ワークショップ】
 東日本大震災の被災地にある教員養成大学として、震災の経験・教訓の伝承に取り組んでいます。プログラムでは、大学教員による講義や地図等を用いた防災演習、被災地での学習を振り返るワークショップ等を行い、災害に強い持続可能な社会づくりのあり方をローカルとグローバルの視点で考えます。

1.座学(30分) 2.ワークショップ(60分)※内容は応相談
 ■受入可能期間/ 応相談 ■料金/ 別途相談 ■該当市町村/ 仙台市



NPO法人海族DMC

60 ぼうさいアドベンチャー：水辺で“安全”を楽しむために



受入可能人数 15~20人 ※水辺と座学の2班に分かれて交代制
 所要時間 90~120分

【座学・海の体験】
 「ぼうさいアドベンチャー」プログラムでは、子どもたちがライフジャケットを着用して安全な海の楽しみ方を学びます。まず背浮きを体験し、緊急時の浮力確保を身につけます。その後、救助艇に乗り込み、仲間の救助シミュレーションを行うことで、協力の大切さと冷静な対応力を養います。海での活動が安心・安全であることを体験しながら学べるこのプログラムは、子どもたちに海への敬意と水辺での安全意識を高めることを目指しています。

※ライフジャケットと安全用具は主催側で用意しますが、水着・着替え・タオル等は来訪者側でご準備ください(詳細は要確認)

■受入可能期間/ 4~10月
 ■休業日/ 火曜日・年末年始・お盆
 ■料金/ 4,950円(1人) ※団体割引については要相談
 ■該当市町村/ 名取市

NPO法人川崎町・学校サポートネットワーク

62 茶作り体験を通して、地元の眠れる資源での持続可能な地域活性化を学ぶ

受入可能人数 2~8人
 所要時間 180分

【説明・体験】
 仙台市と山形市の中間にある川崎町では、今から130年程前にお茶作りをしていましたが、その後、使われずに放っておかれていました。そのような地方の未利用資源を町の魅力を伝える資源に換えていく、地域の人を巻き込みながら行う、持続可能な地域活性化について学びます。実際にお茶作りから飲むところまで、体験していただきます。

■受入可能期間/ 4~10月 ■休業日/ 不定期
 ■料金/ 3,000円(1人) ■該当市町村/ 川崎町

尚綱学院大学

59 里山再生プロジェクトを通じ参加者同士の交流・コミュニケーションを学ぶ

受入可能人数 1~20人
 所要時間 3時間程度(座学60分、体験120分)

【座学・体験】
 1.座学(11:00~12:00):里山再生プロジェクト~SDGsの達成に向けて行動する「地域市民」を育て、持続可能な地域社会の構築に貢献するために~
 2.体験プログラム(13:00~15:00):尚綱の森で自然に親しみながら心身を育む遊びを体験する。過去の実施例:フィールド紹介・散策、伐倒見学、まき割り・丸太切り競争等

■受入可能期間/ 第2土曜日11:00~15:00(里山再生プロジェクト定例活動日) ■料金/ 500円(1人) ※保険代・その他 ■該当市町村/ 名取市



岩沼みんなの家 by infocom

61 岩沼みんなの家のSDGs研修 ~みんなの震災伝承・防災学習~東日本大震災の教訓を未来へ



岩沼みんなの家は、伊東豊雄建築設計事務所の設計による建物です。

受入可能人数 4~40人
 所要時間 150~300分(応相談)

【語り部・フィールドワーク】
 東日本大震災からの復興のトップランナーと知られる岩沼市で、地域の「みんな」が集い、絆をつなぎ、交流できるよう建てられた、コミュニティ施設「岩沼みんなの家」にて、災害の対応力を高め、住み続けられるまちを作るにはどうしたらよいかを考えます。震災の教訓や、みんなの家の取り組みなどから、対話の重要性についても考えます。被災地で最も早く集団移転が行われた「玉浦西地区」や、復興のシンボル「千年希望の丘」などを巡ることもできます。

■受入可能期間/ 平日10:00~17:00
 ■休業日/ 火・土(直売開催日)・日・祝
 ■料金/ 1人3,000円前後(応相談) ※昼食・おやつ・お土産代別途発生
 ■該当市町村/ 岩沼市



国営みちのく杜の湖畔公園(略称:みちのく公園)

63 「公園とSDGs」を学ぶ

受入可能人数 10~60人程度
 所要時間 120分以内

【説明・フィールドワーク】
 公園の維持管理運営業務を通して、下記のような内容を分かりやすく、「公園とSDGs」についてのプログラムをご用意しています。

- 1.エコキャンプみちのく内での分別・リサイクルへの取り組みについて
- 2.多くの方が楽しめるプログラムや健康増進など公園や地域の資源をいかした企画について
- 3.快適なパーク・ライフを支える利用サービスについて
- 4.公園の豊かな自然資源を保全・育成し美しい空間を演出する植物管理

■休園日/ 火曜日(季節によっては無休)・年末年始 ※エコキャンプみちのくをご利用の場合 4/1~11/30 まで利用可(休園日を除く)
 ■料金/ 資料代として200円(1人) ※入園料金(小中学生無料)・駐車場代が別途必要 ■該当市町村/ 川崎町



蔵王ジオパーク推進協議会(事務局:蔵王町環境政策課ジオパーク推進室)

64 蔵王山麓の自然環境と持続可能な地域づくりを学ぶ

受入可能人数 10~60人 所要時間 1~3時間

景勝地・御釜で知られる蔵王山の東麓に広がる蔵王ジオパークは、蔵王山をはじめとする3つの火山の活動によって形成された大地、その上に育まれた自然、そして、自然と共に暮らしてきた人々の歴史が刻まれています。人と地球が共存し続けられる未来を目指して、蔵王の大地から地球の歴史を紐解き「自然と私たちとのつながり」について学んでみませんか。

1 動く大地・変わり続ける自然との共生について学ぶ

【座学・フィールドワーク】
 ①蔵王山について
 蔵王山の成り立ちや山麓の自然・文化、防災減災など、動く大地や火山との共生について学びます。
 ※フィールドワークについては別途ガイド料が必要

②「樹氷」の誕生と変化
 樹氷のでき方と気候変動によって変化する生態系について学びます。
 ※体験は別途雪上車料金が必要 ※冬季以外はVR映像体験が可能

2 大地が育む自然と水のつながりを学ぶ

【座学・フィールドワーク】
 流れる水のはたらき~蔵王の水はどこへゆく~
 理科の単元学習とあわせて、蔵王が育む水のゆくえをたどります。

3 ジオパークを活用した持続可能な地域づくりを学ぶ

【座学】
 蔵王ジオパーク構想の取り組み
 まちづくりの施策であるジオパークの取り組みと持続可能な地域づくりについて考えます。



全プログラム共通

■受入可能期間/ 通年
 ■休業日/ 土・日・祝(相談により対応できる場合有り)
 ■料金/ 応相談(ガイド料等)
 ■該当市町村/ 蔵王町

宮城県蔵王自然の家

65 自然・生命・食・環境 ~蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、SDGsを学ぶ~

受入可能人数 3~200人程度 ※引率者必要
 所要時間 90~120分(当日の受入状況及びプログラムにより要相談)

【自然体験】
 蔵王連峰の山麓の標高486mに立地。この蔵王の雄大な自然の中、春から秋にかけては登山やハイキング、沢登り、冬はスキーやスノーシュートレッキング、歩くスキーなど、季節に応じた野外活動を行いながら、人と自然との関わりや環境問題について考えるきっかけをつかみます。また、「防災クッキング」や「ニジマスつかみ」も本所の人気プログラムで、食や命の大切さについて学ぶことができます。

■受入可能期間/ 通年 ■休業日/ 月・年末年始・年度末・年度始
 ■料金/ 要相談(体験メニューにより異なる) ■該当市町村/ 蔵王町



コカ・コーラ ボトラーズジャパン 蔵王工場見学

66 リサイクルや水資源保護の取り組み・資源を有効活用した循環型社会を学ぶ

受入可能人数 2~40人
 所要時間 約60分

【工場見学・説明】
 リサイクルの取り組みや製造工場水源地での森を守る活動、また資源を有効活用した循環型社会を目指す地域社会との共同の取り組みなど、見学スタッフがわかりやすく説明しております。そのほか、SDGsとの関わりを検証し、社会課題の解決に向けて様々な取り組みを進めております。※詳しい説明をご要望の際には、予約時にスタッフにご相談ください

■受入可能期間/ 月~金・祝日(工場休業日除く) ①10:00~ ②13:00~ ③15:00~
 ■休業日/ 土・日・工場休業日 ■料金/ 無料 ■該当市町村/ 蔵王町



うらにわあとりえ

67 「一目千本桜染め」白石川沿いの一目千本桜の剪定材、倒木などを活用した染め物体験ワークショップ



受入可能人数 1～10人
所要時間 180分程度
【制作体験】
 桜の枝の裁断、染料の煮出し作業、染めの体験。うらにわあとりえでは、保全のために毎年、剪定で処分される枝、または倒木などで廃棄されている桜の材料から、新しい工芸作品を生み出しています。春には数十万人が来訪する一目千本桜ですが、花だけではなくその有効な活用として、観光資源と産業の両立を目指す試みです。このワークショップでは実際の素材に触れ、作品を完成することの喜びも体験できます。

■受入可能期間／通年
 ■休業日／年末年始、その他は不定休
 ■料金／手ぬぐい2,500円・ブチストール3,500円・大判ストール5,000円 ※料金には素材の全てを含みます(シルクまたは麻素材のストール、手ぬぐいなど)
 ■該当市町村／大河原町

(一財)丸森町観光物産振興公社

68 竹のポテンシャルと地域資源の循環を学ぶ



竹林と炭化器 **竹チップ生ごみコンポスト** **竹灯笼**

受入可能人数 10～20人
所要時間 約180分
【座学・体験・フィールドワーク】
 宮城県丸森町は竹林が多くタケノコの名産地です。一方で多くの竹林は放置され荒れ放題で景観を損ねています。竹は繁殖力が高く成長が速いため、杉やヒノキなどの植物の林に侵入すると周囲の樹木を圧迫し日光を遮断して他の植物の成長を妨げるばかりか枯らしてしまうこともあります。また、竹の地下茎は浅く横に広がるため、大雨が降ると竹林ごと斜面から崩れて土砂災害を起こす危険もあります。このように放置すれば「竹害」と言われるほど厄介ものですが、資源と捉えれば無限のポテンシャルを秘めた有効な宝物でもあります。放置竹林を整備することで排出された竹を①チップ化、②炭化、③イベントなど地域資源として活用し循環させる取り組みを体験します。

- 1.レクチャー(座学:厄介ものを宝に変える)
- 2.竹林体験(間伐、無煙炭化器による炭焼き)
- 3.竹チップ生ごみコンポストの紹介
- 4.竹灯笼制作体験 ※竹灯笼はお持ち帰りでできます

■受入可能期間／通年
 ■休業日／月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
 ■料金／5,000円(1人) ■該当市町村／丸森町

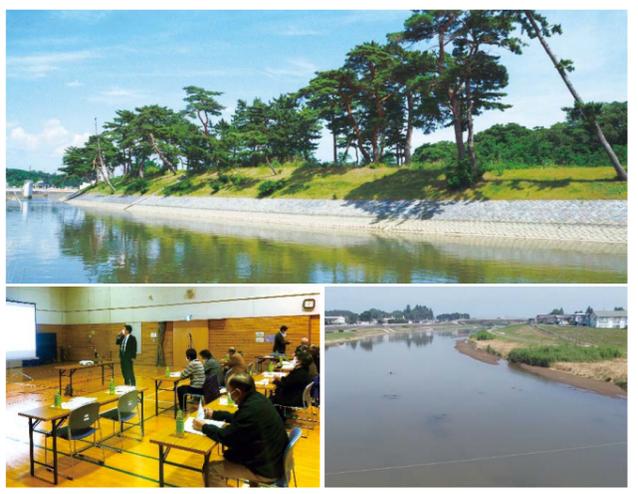
宮城県土木部河川課

69 宮城県の治水事業の歴史と日本一長い運河群

1 宮城県の治水事業の歴史と未来の川づくりの方向性を学ぶ

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています
所要時間 60分～
【座学・フィールドワーク】
 これまでの宮城県の治水事業を振り返るとともに、今後のみやぎの川づくりの方向性について、みなさんと一緒に考えます。宮城県全域対象に出前講座「みやぎの治水事業」やフィールドワークを通じ、治水の歴史や自然災害から人命・財産・生活防衛について学べます。

■受入可能期間／平日10:00～20:00、土・日・祝10:00～17:00 ※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合有り ■料金／無料 ※会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります
 ■該当市町村／宮城県全域



2 自然災害(水害)から命を守る・洪水に備えるための知識を学ぶ

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています
所要時間 60分～
【座学・フィールドワーク】
 近年、ゲリラ豪雨の頻発等、雨の降り方が変わってきています。水害から命を守るため、河川に関する防災情報を活用した洪水に備えるための知識等を、分かりやすく説明します。宮城県全域対象に出前講座「水害から命を守るために」やフィールドワークを通じ、自然災害から人命・財産・生活防衛について及び洪水に備える知識を学べます。

■受入可能期間／平日10:00～20:00、土・日・祝10:00～17:00 ※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合有り ■料金／無料 ※会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります
 ■該当市町村／宮城県全域

3 日本一長い運河群の歴史・津波の減災効果・復興計画・利活用を学ぶ

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています
所要時間 60分～
【座学・フィールドワーク】
 江戸時代から明治にかけて造られた、日本一長い運河群(貞山・東名・北上運河)の歴史と、東日本大震災による津波の減災効果、運河沿線の復興計画と利活用状況など分かりやすく説明します。運河群全域対象に出前講座「日本一の長さを有するみやぎの運河群(貞山・東名・北上運河)の歴史と利活用について」やフィールドワークを通じ、歴史・多重防衛・自然環境との調和と共生・持続的な地域間連携などを学べます。

■受入可能期間／平日10:00～20:00、土・日・祝10:00～17:00 ※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合有り ■料金／無料 ※会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります
 ■該当市町村／運河群エリア全域(阿武隈川から旧北上川まで49km)

伊豆沼・内沼、蕪栗沼・周辺水田、化女沼、志津川湾

70 宮城県内のラムサール条約湿地と周辺施設

“ラムサール条約”とは、

国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全等を目的とした条約です。宮城県内では4か所が条約湿地に登録されており、国際的にも貴重で珍しい場所といえます。日本で2番目に登録された「伊豆沼・内沼」をはじめ、「蕪栗沼・周辺水田」、「化女沼」は、県北部の直径約15km以内に位置し、毎年国内に飛来するマガンの約9割が訪れ、国内最大級の越冬地となっています。また、海域としては東北初、「海藻藻場」としては全国初の登録となった「志津川湾」では、「海の森や草原」が見られ、冬には希少なコクガンも訪れます。

一方、それぞれの湿地において、生物多様性の劣化や水質の悪化、外来生物の侵入等による自然環境の悪化などの課題が生じており、様々な保全活動が進められています。

それぞれに特色ある雄大な自然と多種多様な生きものたちとの触れ合いを通じて、自然と人との関わり方や共生について学ぶことができます。



各エリア共通目標

エリア:伊豆沼・内沼(栗原市エリア)

1 伊豆沼・内沼周辺の水鳥の生態や水生生物を観察し生態系の保全の重要性を学ぶ

受入可能人数 10～30人
所要時間 見学30分・体験120分～
【座学・フィールドワーク】
①渡り鳥の飛び立ち観察
 「伊豆沼・内沼」を散策しながら、水鳥の生態を観察しつつ、生態系保全の重要性について学びます。
②水生生物の観察・漁師体験
 淡水魚や水生昆虫などを採集しながら、豊かな水辺が私たちの稲作や漁業を支え私たちの生活や心の豊かさを支えていることを実感できます。
 ※宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターや栗原市サンクチュアリセンターつぎだて館見学もできます

■受入可能期間／①11～2月 ②5～10月
 ■休業日／月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～12/31
 ■料金／無料 ■該当市町村／栗原市



エリア:伊豆沼・内沼(登米市エリア)

2 伊豆沼・内沼周辺の歴史・自然環境・農業との関連性を学ぶ

受入可能人数 5～40人
所要時間 90分～
【座学・フィールドワーク】
 伊豆沼周辺を散策しながら、新田開発の歴史や自然環境(渡り鳥・ハスなどの動植物)と農業との関連性について学びます。目標・ご希望に応じて農業の6次産業化の講話や郷土料理などの食農体験を組み込むことも可能です。
 ※登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター見学もできます(月曜定休)

■受入可能期間／通年 ■休業日／年末年始
 ■料金／1,100円(1人) ※ソーセージの試食付き ■該当市町村／登米市



エリア:志津川湾(南三陸町)

3 コクガンの越冬地、志津川湾の自然環境の特徴を学ぶ

受入可能人数 5～40人
所要時間 120分～(応相談)
【座学・見学・体験】
 海藻や海草(うみくさ)の藻場が広がり、コクガンの越冬地ともなっているラムサール条約湿地「志津川湾」の自然環境の特徴を、フィールド活動や座学、実際の生物と標本の観察を通じて実感します。※体験プログラムは希望内容に応じて決定します

■受入可能期間／通年 ■休業日／土・日(要相談)
 ■料金／無料 ※実習の教材費やガイド料等が必要になる場合有り
 ■該当市町村／南三陸町



エリア:「蕪栗沼・周辺水田」「化女沼」(大崎市)

4 大崎地域の水田農業の学習とガン類のねぐら入りの観察を通じて、水田農業の営みと共生した水田の生物多様性について学ぶ

受入可能人数 1～100人程度
所要時間 60～180分
【座学・フィールドワーク】
 大崎地域では、ねぐらとなる蕪栗沼や化女沼のような大きな沼と餌場となる広大な水田が広がり、持続的に水田農業を行ってきたことから、10万羽を超えるガン類が飛来しています。広大な水田がガン類を支えていることを学びます。

- 1.観察の注意事項や概要説明(30分)
- 2.水田で採餌するガン類の観察等(30分)
- 3.沼でガン類のねぐら入り観察(1時間) ※ガイド随行

■受入可能期間／10月中旬～2月上旬(土・日・祝受入可能)
 ■料金／無料 ※ガイド料が別途発生
 ■該当市町村／大崎市

宮城県内の日本遺産

“日本遺産”とは

文化庁が認定した地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。各地域の魅力あふれる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信しています。地域活性化を図ることを目的とした、日本の文化財保護制度の一つです。



宮城県の日本遺産

「政宗が育んだ“伊達”な文化」

平成28年度認定

関係自治体:仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町

構成文化財:登録数51 ※記載文化財以外も紹介可能です



株式会社松観

1 「政宗が育んだ“伊達”な文化」

構成文化財をガイドの解説を通じて学ぶ

受入可能人数 1~400人

所要時間 45~70分



【解説・フィールドワーク】

日本遺産の構成文化財である国宝瑞巖寺及び五大堂の専門ガイド団体です。古来より人々の憧れの地となった「松島」の歴史背景や地域資源とのかわりについて学び、未来継承のための「まちづくり」の在り方について考え、「目標4教育に掲げる質の高い教育」を通じて持続可能な開発目標を考える視点を養うことができます。

■受入可能期間/通年[4~9月]8:30~16:00、[3・10月]8:30~15:30、

[2・11月]8:30~15:00、[1・12月]8:30~14:30 ■休業日/無休

■料金/ガイド1人につき4,000円~6,000円(詳細要問い合わせ)

■該当市町村/松島町

仙臺筆筒歴史工芸館

2 江戸末期から発展した

仙臺筆筒の歴史や技術に触れる

受入可能人数 2~8人

所要時間 15~30分



【座学・見学】

仙臺筆筒は江戸時代の終わり頃から地場産業として発展した、宮城県を代表する伝統的工芸品です。江戸時代末期から現代にかけて製作された仙臺筆筒の展示のほか、江戸時代以来、指物(木工)・漆塗り・金具それぞれの職人が守り続けてきた伝統的工芸技術を紹介した映像を上映しています。江戸時代以来の職人技が今に息づく仙臺筆筒の歴史や技術に触れることができます。

■受入可能期間/通年 ■休業日/火曜日 ■料金/無料

■該当市町村/仙台市

みちのくGOLD浪漫—黄金の国ジパング、
産金はじまりの地をたどる—令和元年度認定

関係自治体:涌谷町・南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市

構成文化財:登録数45 ※記載文化財以外も紹介可能です

1 「みちのくGOLD浪漫」構成文化財を
ストーリーガイドと共に現地ですぐ

受入可能人数 20~30人程度

所要時間 60分程度~



【ガイド・説明】

日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の構成文化財を現地において、ストーリーガイドを行いながら、「金」という資源をテーマとして、みちのくの自然を基盤として、人々がいかにかかわり、歴史を紡いできたかをお話します。地域資源と共に生きる「みちのく」が支えた日本について学ぶことで、様々な「持続可能性」に対する視点を養うと共に、「志教育」などの私たちと地域の関わり方の視点も養うことができます。

■受入可能期間/通年(日程は要調整) ■休業日/年末年始 ■料金/ガイド

の移動や随行等に伴う実費(平泉観光ガイド除く) ■該当市町村/涌谷町・

南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市



天平ろまん館

2 日本初の産金地・東大寺大仏のふるさと・
万葉北限の地の歴史を学ぶ

受入可能人数 10~100人程度 ※要相談

所要時間 歴史館見学30~60分、

砂金採り体験30分、

国史跡散策30~60分

(ガイドについては要相談)

【ガイド・説明】

「日本初の産金地」「東大寺大仏のふるさと」「万葉北限の地」をテーマとするわくや万葉の里。歴史館見学、砂金採り体験、国史跡散策などを通し、資源と人とのかわりについて学ぶことで産業と技術革新や、奈良東大寺大仏とのかわりを通して「世界の文化遺産の保護・保全」について考える視点を養うことができます。(ストーリーガイドと共に、天平ろまん館や黄金山神社周辺を歩いて学びます)

■受入可能期間/通年9:30~17:00(11~3月は16:30) ■休業日/無休

■料金/歴史館見学:50円(小・中・高校生10人以上の団体料金) 砂金採り体験・抹茶体験料金:天平ろまん館HP参照 ガイド料:別途相談 ■該当市町村/涌谷町



籠峯寺

3 奥州鎮護として営まれてきた

お寺の歴史と地域とのかわりを学ぶ

受入可能人数 5~20人程度 ※要相談

所要時間 見学30~60分程度

止観(坐禅)体験60分程度

【見学・説明・体験】

1250年「籠岳山」を聖地として護り続けてきた「籠峯寺」。「奥州鎮護」を旨として営まれてきた寺の歴史や地域とのかわりを知ること、「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等」などについて考える視点を養うことができます。また、静かな環境での止観(坐禅)体験などを通じて、自己と世界とのつながりを再認識できます。※ストーリーガイドが同行します

■受入可能期間/体験期間:4~11月10:00~15:00 ■休業日/火曜日(葬儀等により日程を変更していただく場合あり) ■料金/止観(坐禅)体験:無料

ガイド料:要相談 ■該当市町村/涌谷町



田東山(田東山経塚群)

4 奥州藤原氏が信仰した
「田東山経塚群」行者の道を学ぶ

受入可能人数 5~40人程度 ※要相談

所要時間 経塚群見学30分・行者の道トレイル150分程度

【トレイル体験】

日本遺産の「経塚」をはじめ、登山ルートとして残る「行者の道」などには、昔そのままの自然や人々の生活、生業や信仰が共生する姿が色濃く残っています。プログラムを通して、持続可能な開発目標を、考える視点を養うことができます。

※ストーリーガイドが同行します

■受入可能期間/4~11月頃 ■料金/ガイド料要相談

■該当市町村/南三陸町

大谷鉱山歴史資料館

5 日本屈指の金山の

資源と人との

かわりについて学ぶ

受入可能人数 1~20人程度 ※要相談

所要時間 30~60分

【施設見学】

明治から昭和にかけて日本屈指の金山とした栄えた大谷鉱山。実際に使われていた削岩機やトロロク、産出された金鉱石のほか、操業の様子や従業員の生活を写した写真などを見学し、「産業と技術革新」や「持続可能な消費や生産」など資源と人とのかわりについて学ぶことができます。※ストーリーガイドが同行します

■受入可能期間/通年10:00~16:00 ■休業日/水・年末年始 ■料金/

資料館:無料 ガイド料:要相談 ■該当市町村/気仙沼市



鹿折金山資料館

6 近代日本の国家的資源と人とのかわりを学ぶ



受入可能人数 1~30人 ※要相談

所要時間 資料館見学のみ30分、金山ウォーク120分程度

【施設見学・フィールドワーク】

近代日本の国家的資源となった「モンスターゴールド」の産出について当時の金鉱石、工具、文献などを見学し、「目標9 産業と技術革新」や「目標12 持続可能な消費や生産」など資源と人とのかわりについて学ぶことができます。

※ストーリーガイドが同行し、資料館見学と周辺見学(金山ウォーク)を行います

※大型バスの乗入不可

■受入可能期間/通年10:00~16:00 ■休業日/火曜日 ■料金/資料

館:無料 ガイド料:要相談 ■該当市町村/気仙沼市

うるし体験工房KURAS

7 平泉に遺るうるしの文化財や
金色堂の技術を学ぶ

受入可能人数 2~40人 所要時間 60~90分程度

【講話・制作体験】

古来より東北の特産である「うるし塗り」を体験しながら、伝統的工芸品「秀衡塗」や平泉に遺されているうるしの文化財や金色堂の技術について学び、「働きがいも経済成長も」「持続可能な産業化」「世界文化遺産の保護・保全」を考える視点を養うことができます。※体験作品は工房で乾燥後1週間~2週間後に発送

■受入可能期間/通年9:00~15:00 ■休業日/水曜日 ■料金/はし・ス

トラップ・スプーン各4,400円、コースター・銘々皿5,500円(作品送料が別途発生)、う

るしの勉強会(お土産用の箸付)1,100円 ■該当市町村/岩手県平泉町

一般社団法人 古都ひらいずみガイドの会

8 極楽浄土を具現化した「中尊寺金色堂」で
奥州藤原氏が思い描いた浄土思想を学ぶ

受入可能人数 1~200人程度 ※それ以上は要相談

(ガイド1人あたり20人まで対応可)

所要時間 要相談

【ガイド】

世界遺産平泉は、平安時代後期に奥州藤原氏が平和で争いのない理想郷を求めて築いた都です。「中尊寺金色堂」や「毛越寺」などを見学し、奥州藤原文化や浄土思想を学習します。

■受入可能期間/通年 ※時間帯は要相談 ■料金/ガイド1人2時間あたり

3,500円(超過1時間あたり1,000円加算) ■該当市町村/岩手県平泉町

玉乃湯「玉山金山」

9 江戸時代の金鉱資源と
人々のかわりを学ぶ

受入可能人数 2~9人程度 ※要相談

所要時間 90~120分



【フィールドワーク・体験】

江戸時代、仙臺藩の金山として栄えた「玉山金山」。往時をしのぼせる金山ウォークや金鉱石が水晶化した水晶を探るジオ体験を通して、「産業と技術革新」や「持続可能な消費や生産」など資源と人とのかわりについて学ぶことができます。※ガイドが同行します

■受入可能期間/土・日のみ ■料金/2,400円(1人) ※ガイド料・入浴料・保険

料含む ■該当市町村/岩手県陸前高田市

